

# かごしま林業普及だより

## 第 17号

### (令和7年3月)

#### 目 次

|                            |               |     |
|----------------------------|---------------|-----|
| (1) 建築現場見学会【鹿児島工業高等学校】     | ・・・【鹿児島指導区】   | 1 頁 |
| (2) 日置市立妙円寺小学校における森林環境教育   | ・・・【鹿児島指導区】   | 1 頁 |
| (3) 指宿市立指宿小学校における森林環境教育    | ・・・【南薩指導区】    | 2 頁 |
| (4) 林福連携の促進に向けたコンテナ苗生産視察研修 | ・・・【南薩指導区】    | 2 頁 |
| (5) 森林作業道の管理技術研修           | ・・・【北薩指導区】    | 3 頁 |
| (6) 森林認証の取得                | ・・・【始良・伊佐指導区】 | 3 頁 |
| (7) 森林作業道作設オペレーター育成研修      | ・・・【大隅指導区】    | 4 頁 |
| (8) 地域リーダー等技術研修・交流会        | ・・・【普及指導部】    | 4 頁 |

ホームページで試験研究や  
林業普及活動、森林環境教育  
などの取組を紹介しています！



鹿児島県森林技術総合センター  
普及指導部

## 建築現場見学会【鹿児島工業高等学校】

1月28日（火）に鹿児島県建築士会が主催している建築現場見学会に参加して鹿児島工業高等学校の生徒に対して森林・林業についての普及活動を行いました。

当見学会は、鹿児島県建築士会が2年に1回、鹿児島工業高校の生徒を対象に開催しており、今回は、伐採現場→プレカット工場→建築現場→完成現場を1日かけて見学するスケジュールで実施されました。

そのうち、伐採現場の視察先となった(株)島津興業の間伐現場では、森林・林業に関する説明及び高性能林業機械の実演を行うこととなりました。

まずは、鹿児島県の森林の特徴や森林の働きなどの説明を行い、本題である間伐の意義や高性能林業機械を活用した作業について、時折雪が降る中でしたが、寒さに負けないように身振り、手振りを交えながら説明を行いました。

その後、チェーンソーによる伐倒、プロセッサによる造材・玉切、フォワーダによる運材の実演を行いました。プロセッサによる造材・玉切りの際に歓声が沸くなど、やはり高性能林業機械を活用した作業に注目が集まっていました。

高性能林業機械を活用した作業に生徒が興奮している様子を見ながら、この機会を逃さぬよう間髪いれずに「かごしま林業大学校」のパンフレットで研修生募集の案内をして伐採現場の見学会を終了したところです。

伐採現場からバスに戻る際に、ある生徒から就職先の一つとして林業も考えているとの話も聞けて、今回の見学会がきっかけとなり、将来、森林・林業に携わる生徒がでてくれることを願いつつ帰路につきました。

最後に、忙しい中、当日の現場での実演や準備等で対応頂きました(株)島津興業の皆様方に書面をお借りして感謝申し上げます。  
(塩山 英男)

### 鹿児島指導区



雪が降る中での森林・林業に関する説明



伐木・造材・運材の実演

## 日置市立妙円寺小学校における森林環境教育

2月14日（金）に妙円寺小学校6年生77名を対象に日置市内の民有林の伐採跡地でスギの植樹活動を行いました。

今回は妙円寺小学校の先生から、以前、他校において森林環境教育で実施した植樹体験をぜひ妙円寺小の子どもたちにも体験させたいとの熱い思いを受け実施を計画したものです。

当日は、雲一つ無い快晴の中、伐採跡地に木を植えることの必要性等、森林・林業の学習をした後、子どもたちに1人3本ずつスギの苗木を植栽してもらいました。

移植ゴテで穴を掘り、苗木を植えるという慣れない作業に悪戦苦闘していましたが、後日「木を植えることで、私たちの未来が安心して過ごせるということがわかり、とても興味をもちました」等、うれしい感想もあり、今後も、引き続き、子どもたちに少しでも森林・林業に興味をもってもらえるよう森林環境教育の普及に努めていきたいと思います。

今回、事前の準備から当日の植栽指導等、ご協力をいただきましたかごしま森林組合ひおき支所の皆様、ありがとうございました。  
(山之内 美穂)

### 鹿児島指導区



植樹体験の実施状況

## 指宿市立指宿小学校における森林環境教育

南薩指導区

2月17日（火）に指宿小学校5年生52名を対象に、森林環境教育を実施しました。

学習内容は、かごしま森林組合いぶすき支所の主伐・再造林地における植樹体験のほか、ドローンによる苗木運搬や高性能林業機械による伐木造材作業の見学などで、青年林業士や指導林業士としても活動している同支所の職員にも協力を頂きながら実施しました。

当日は天候にも恵まれ、風の影響を受けやすいドローンも予定どおり飛行でき、20kg以上の苗木を釣り上げて飛行する姿に、児童の皆さんからは感嘆の声が上がっていました。

植樹体験では、植穴掘機「ほるほる君」の実演のほか、コンテナ苗や山鋏での植栽方法の説明を行った後、実際に植樹を実施しました。

児童の皆さんは、使い慣れない山鋏での植穴掘りに加え、固い土や木の根に悪戦苦闘していましたが、1人2本以上の苗を時間内に植樹することができました。

最後の伐倒機能付きグラップルバケットによる伐採、プロセッサによる造材、フォワーダによる運材など、高性能林業機械による作業の見学では、木が倒れる際の音や短時間で丸太に造材される様子に終始歓声をあげていました。

約半日の活動でしたが、引率した先生から「植栽作業のスマート化など林業の過程を勉強でき、児童も意欲的に取り組めた」などの感想を頂き、今回の活動により森林・林業に関する関心を深めてもらえたと感じました。

今後もこのような活動を通して小中学生の森林、林業に対する意識の醸成を図っていききたいと考えています。

(山下 幸一)



ドローンによる苗木運搬



植樹体験



プロセッサによる造材

## 林福連携の促進に向けたコンテナ苗生産視察研修

南薩指導区

3月5日（水）に南薩地域のコンテナ苗生産者と社会福祉法人による視察研修を実施しました。

巡回指導の中で、南九州市知覧町の社会福祉法人が地域のコンテナ苗生産者のサポートを受け、コンテナ苗生産を始めたいとの話を伺ったことから、林福連携による苗木生産を進めている南大隅町の駿河木材(有)と社会福祉法人白鳩会の取組について研修することとしました。

当日は、社会福祉法人白鳩会の利用者による、スギ挿し穂づくりや挿し付け作業、育苗施設における管理状況についての現地研修のほか、会議室において、林福連携に至った経緯や作業を進める上での留意点、工賃、今後の生産目標などについて説明を受けたあと、意見交換を行いました。

意見交換では、コンテナ苗生産における作業の細分化の内容や苗木づくりを行うことによる利用者の就労意欲の変化などの話を伺うことができ、取組を進める上で非常に有意義な研修となりました。

南薩地域のコンテナ苗生産量は順調に増加しているところですが、依然、管内の需要に十分に对应されていないことから、今後は、今回の研修内容や社会福祉法人の意向等を踏まえた上で、林業、福祉分野相互にメリットのある取組になるよう、引き続き普及活動に努めていきたいと考えています。

(長谷川 徳幸)



視察研修状況



意見交換

## 森林作業道の管理技術研修

持続的で安定した森林経営のため、効率的な森林施業を実現する路網の整備はとても重要です。

特に森林作業道は、間伐等による木材の集材・搬出、主伐後の再造林・下刈にと継続的に使用されることから、低コストで簡易な構造でありながら繰り返しの使用に耐える丈夫さを求められることになります。そこで、森林作業道の作設とその施工管理技術についての研修を2月14日（金）に実施しました。

今回は実際に現場で道づくりをされている方だけでなく、補助金申請のため測量や管理に携わる方々にもご参加いただき、研修の内容もそちらを意識したものとしました。

さて、森林作業道を作設する上で考慮すべき最低限の事項を目安として示した「森林作業道作設指針」というものがあります。研修は、この指針の内容を再確認する形で進め、作設・管理のポイントを解説しました。

受講者のキャリアが幅広であったため、規格や構造に始まり用語や単位の解説といった初心者向けに振り切った個所も多かったことから、「ベテランの方にはクドかったかも…」との懸念もありましたが「わかったつもりでいた基本的な事柄を、一から丁寧に教えてもらって良く理解できた」等の感想をいただき安堵した次第です。

さて、今後の業界を取り巻く状況として、「宅地造成及び特定盛土規制法（通称：盛土規制法）」に関連し、今年5月には本県の大部分が規制区域に指定される予定です。ここでも森林作業道作設指針に適合していることが重要な意味を持ちます。これからも指針に即した安心安全な森林作業道づくりの普及を目指していかなばと、決意を新たにした研修となりました。

（中村 信一）

### 北薩指導区



管理技術を基礎から解説

## 森林認証の取得

地域材の特性を生かして持続可能な森林経営や管理を目的とし、第三者機関が認定する「森林認証」の取得を目指して「霧島市」、「鹿児島県」、「鹿児島県森林組合連合会」、「霧島神宮」の4者で令和6年7月4日に「きりしまの森認証協議会」を設立しました。

対象面積は約4,200haで、伐採時の土砂流出防止や生物多様性の保全などに関する統一基準を定めるなどの協議を重ね、令和7年1月1日に森林の管理に関する森林認証（FM認証）を取得しました。

認証取得を受けて同年1月31日に「きりしまの森認証協議会」森林管理認証書交付式を行いました。

また、今後、木材の加工・流通に関する森林認証（C o C認証）を含む森林認証の地域における更なる拡がりが必要となることから、制度の普及や取組の促進を図るため、「始良・伊佐地区森林認証普及会議」を開催しました。この会議では一般社団法人 日本森林技術協会（JFPA）の澤山秀尚氏より「森林認証を活用した地域づくり」について講演いただき、関係者にとって今後の取り組みの具体的なイメージの湧くものとなりました。

県内では、鹿屋市に次ぐ認証取得で、今後は地域の素材生産業者や製材業者、工務店などにも働きかけてC o C認証の取得を推進し、認証材を販売する体制づくりを地域一体となって取り組んでいければと考えています。

（上敷領 芳広）

### 始良・伊佐指導区



認証交付



認証を記念して作成したコースター

## 森林作業道作設オペレーター育成研修

12月17日（火）～20日（金）の4日間、曾於市大隅町で森林管理道作設オペレーター育成研修を実施しました。

1日目は、午前中に室内研修を行い、講師をお願いした指導林業士の南祥三郎氏（以下「講師」という。）が中心となり、「安全で丈夫な森林作業道づくり」を進める上での作設手順や作り方のポイント等について講義を行い、午後は現場へ移動して、講師から森林作業道開設に当たっての現地踏査（確認）の仕方や線形の選び方について学習しました。

2日目以降は、伐開（支障木の伐採）作業の後、講師がバックホウで切土・盛土の実演を見せた後、各研修生が約1時間交代で講師とのマンツーマン指導を受ける形で研修が進みました。

やはり百聞は一見にしかずで、室内研修では説明しにくい、掘削の際のバケットの角度や爪の使い方、土の動かし方など、講師の経験を踏まえた「安全で丈夫な森林作業道づくり」を各研修生が身を持って学習できたようです。

また、研修生も実習が進むについて、作業上での疑問点等について講師と意見交換をするなど、今後、森林作業道を作設を進めて行く上でのノウハウを習得することができたようです。

4日間の研修中、寒い日が続きましたが、講師の人柄もあり、終始和やかな雰囲気のまま、無事研修を終えることができました。

次年度以降も、更に現場技術者の育成に努めていきたいと思います。

（岩 智洋）

### 大隅指導区



バックホウの操作指導の様子



ふりかえり指導の様子

## 地域リーダー等技術研修・交流会

2月12日（水）県内の指導林家をはじめ、指導林業士、青年林業士、林業研究グループなど、県内各地から森林・林業関係者63名の参加により、技術研修・交流会を開催しました。この交流会は、活動報告や情報交換を通じて、参加者同士の親睦を深め、技術力や地域全体の人材の資質向上を図ることを目的としています。

研修では、まず林研グループの「阿久根市竹の子いちばん栽培グループ」から安心・安全な早掘りたけのこ生産に取組み、20年連続でK-GAP（かごしまの農林水産物認証）を取得した活動報告がありました。

次に、錦江町で活躍している木育インストラクターから「デジタルファブリケーション木育について」と題し、デジタル技術を活用した木育活動を通じて、子供たちに木の良さや魅力を伝える授業の事例を紹介しました。最後に、当センターの林業専門普及指導員から、小学校や高等学校で毎年実施している森林環境教育推進事業の取組事例について報告があり、参加者間で意見交換が行われました。

林業後継者を育成するためには、将来「林業」を就職の選択肢の一つとして考えられるように、小さい子供のうちから森林環境教育を実施することが重要など、多くの貴重な意見が出されました。

また、会場内には、アシストスーツの試着体験やチェーンソー用防護服、防護ブーツなど林業用道具の展示、さらには林研グループが製作した木工品や原木乾しいたけ、椿油、屋久島地杉を使った皿や箸の展示ブースも設け、活発な質疑応答が行われました。

この交流会は、指導林家などが一堂に会する貴重な機会であり、参加者からは「久しぶりに多くの林業仲間と話せて、また若い世代の取組や楽しい話が聞けて元気が出た。みんなで林業を盛り上げていきたい」という声が聞かれ盛況のうちに終了しました。（満留 良文）

### 森林技術総合センター

#### デジタル加工機で製作した 木工品の紹介



#### 展示ブース（アシストスーツ、チェーンソー用防護服、林研グループ作品等）

